

平成22年度 超高磁場NMR 共同利用研究課題 採択課題一覧

NO.	実 験 課 題	実験責任者	実験責任者所属
1	$^{13}\text{C}$ 直接観測による膜タンパク質の構造研究	楯 真一	広島大学大学院 理学研究科
2	高分子量タンパク質の芳香環CH TROSYの磁場効果	甲斐荘 正恒	名古屋大学大学院 理学研究科
3	ケミカルバイオロジーを志向した $^{13}\text{C}$ 直接観測によるタンパク質のNMR	廣明 秀一	神戸大学大学院 医学研究科
4	細菌の運動に関わる膜超分子複合体の超高磁場NMR解析	本間 道夫	名古屋大学大学院 理学研究科
5	緩和分散法による蛋白質の動的構造解析	菅瀬 謙治	(財) サントリー生物有機科学研究所
6	超高磁場NMRによる複合糖質の動的構造・相互作用解析	矢木 真徳	名古屋市立大学大学院 薬学研究科
7	新規2回貫通膜タンパク質の構造解析	出村 誠	北海道大学大学院 先端生命科学研究院
8	基本転写因子、クロマチン因子のNMR研究	奥田 昌彦	横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科
9	古細菌オリゴ糖転移酵素の緩和時間測定	神田 大輔	九州大学 生体防御医学研究所
10	バイオマス及びHIV関連蛋白質の静的及び動的挙動の解明	片平 正人	京都大学 エネルギー理工学研究所
11	NMRに基づくESPファミリーの立体構造と受容体認識に関する研究	寺沢 宏明	熊本大学大学院 生命科学研究部
12	酵素・グルカナーゼとアダプター分子・Grb2及びGadsの立体構造解析	織田 昌幸	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科
13	藍色細菌 <i>Synechococcus</i> sp. PCC 7942の転写因子SmtBの亜鉛イオン検知に伴う機能制御機構の構造科学的解析	森田 勇人	愛媛大学 農学部
14	転写因子Sharp2 オレンジドメインとE-box DNA複合体の構造解析	飯塚 舜介	鳥取大学大学院 医学系研究科
15	超高磁場NMRを用いたPorphyromonas gingivalis HBP35糖タンパク質の構造解析	庄子 幹郎	長崎大学大学院 歯歯薬学総合研究科